

サポート

No.126

平成27年12月16日発行

特別支援教育課 指導班

平成27年度秋田県特別支援学校職業教育フェア(県南地区)

平成27年11月23日(月)に秋田ふるさと村で、秋田県特別支援学校職業教育フェア(県南地区)を開催しました。今年度は、「若者チャレンジ産業祭」の中で、平成高等学校吹奏楽部と横手城南高等学校よさこい同好会の協力を得て開催することができました。

作業学習製品販売や手作り体験は、多くの来場者で賑わいました。欧風創作料理バル・パサポルテ(横手市)や株式会社つじや(大仙市)等の企業も生徒と一緒に試食や販売に携わりました。

秋田県特別支援学校技能競技会「錬成会」では、県南地区の企業関係者に審査員を依頼するとともに、国際ソロプチミスト横手からの協力も得て、ビルクリーニング、喫茶サービスの2競技を行いました。



各校とも1、2年生が多く出場しましたが、スムーズな動作で、素早く競技する選手もおり、年々技能が向上していることを実感しました。各選手の競技技術は拮抗しており審査は難航しましたが、基礎的な動作を丁寧に行った選手が高い評価を受けました。手応えを感じた生徒も、受賞を逃した生徒も、それぞれに得るものがあったと思います。今後の学習の糧にしてほしいと思います。

また、競技終了後は、ドーム劇場の大舞台上でステージ発表を行いました。大曲養護学校の太鼓演奏、稲川養護学校のダンス、横手養護学校のよさこいソーランと、日頃の学習の成果を存分に発揮しました。さらに横手城南高等学校よさこい同好会が華を添え、フィナーレでは、出場者全員でよさこいの演舞を披露しました。

今後も作業学習を通した各校の切磋琢磨と交流の深まりを期待するとともに、地域の企業関係者への理解促進に努めていきたいと思っています。

秋田県特別支援学校技能競技会「錬成会」入賞者

・ビルクリーニング競技(7名出場)

金賞：永沢 伊吹(横手養護学校2年)

銀賞：高橋 湧斗(横手養護学校2年)

銅賞：谷 亜佳里(大曲養護学校3年)

・喫茶サービス競技(9名出場)

金賞：藤原みなみ(横手養護学校3年)

銀賞：須原 優奈(稲川養護学校1年)

銅賞：佐藤 舞花(横手養護学校2年)



平成27年度キャリア教育実践研究協議会

～比内養護学校の実践発表より～

平成27年10月30日（金）、秋田県総合教育センターでキャリア教育実践研究協議会が行われました。小・中・高等学校、特別支援学校の教職員など約480名が参加しました。

各校種による実践発表「特色あるキャリア教育の実践」では、比内養護学校高等部3年の阿部優さんと藤田龍一朗さんが、「地域とつながる、地域に学ぶ」と題して発表しました。高等部3年間の学びとして生活単元学習と作業学習の取組を分かりやすく紹介し、「地域で自信をもって生活したい、働きたい。」と力強く述べました。また、高等部3年生が「ハチ公よさこい祭り」で演舞し、最優秀賞を受賞した「比養絆舞桜」を披露しました。ステージ上で発表を待つ時の姿勢や間違った時の対応も大変素晴らしく、日頃の学習の積み重ねが分かる発表でした。参加者からは、「とても立派でした。」「感動しました。」という言葉がたくさんいただきました。

各特別支援学校においては、教育活動全体を通じたキャリア教育の充実と、発達の段階を踏まえた体験的な活動の充実を図ることが一層期待されます。



おめでとうございます

社会貢献青少年表彰

青少年健全育成秋田県大会が平成27年11月16日（月）、県庁第二庁舎で開かれ、「大曲養護学校絆プロジェクト」が表彰されました。絆プロジェクトでは、地域の除雪や商店街の清掃、手作りカレンダーの配布等、地域貢献につながる様々な活動を行ったことが評価されました。



今後も地域の方々のため、いろいろなことに一生懸命取り組んでいきたいと思います。

～高等部3年 谷 亜佳里さんと
黒澤正子教諭～

教育者文部科学大臣表彰

秋田きらり支援学校の進藤忠雄校長が受賞されました。



優良PTA文部科学大臣表彰

栗田養護学校のPTAが受賞されました。



学校探訪 7

光る汗 輝く瞳 挑む姿

天王みどり学園



隣接している総合教育センターと 県立大学との連携

総合教育センターの体育館や講堂、食堂でのカフェ「みどりの風」など、施設を活用した教育活動のほか、当センターでの教職員の研修の受け入れを通して、特別支援教育の理解と実際の授業実践の提供を行う役割を果たしています。

また、作業学習の食品加工では、県内の特別支援学校において、いち早く「りんごジャム」に取り組んでおり、現在はりんごの栽培実習を始めています。農作物栽培については、近くにある県立大学の協力により、土壌や品質の専門性を活かした生育で、特色ある野菜作りに取り組むほか、地元企業の協力による食品加工にも力を入れています。そして、開校時から継続した活動である、ボランティア養成講座は、地域の方々だけでなく、高校生の参加者が増えており、今年度からは出前講座も実施しています。近隣の専門機関との連携や、地域での学習活動の広がりが、子どもたちの自立と社会参加をさらに充実させています。



〔県立大准教授からの指導〕



〔教育センター研修員との交流〕